

【議会報告会】

《教育民生常任委員会所管部分》

○今回の新型コロナウイルスの影響で学校が休校となった際に尽力していただいたのが学童保育所だが、新型コロナウイルス感染症関連経費（保育幼稚園課）などについて、学童保育所の従事者への手当は計上されていないが、そうした議論はあったのか。

⇒議員 今回の新型コロナウイルス対応については、学童保育所に本当に尽力いただいた。令和2年5月開会議会の予算常任委員会教育民生分科会でも、従事者への手当を厚くすべきだ、という議論がなされたので、引き続き休会中所管事務調査でも、そのあり方を含め議論を深めていくものと考えている。

○新型コロナウイルス感染症関連経費（保育幼稚園課）の衛生用品等の購入について、例えば、非接触型体温計などは単価が高いと感じるが、このような高い価格で購入するのか。

⇒議員 資料の単価はあくまで参考価格である。実際には入札を行うので、この単価より低下するものと考えている。

○新図書館整備にかかる図書や備品等の購入については、都市部の大手企業に独占させるのではなく、地元企業も参入できるようにしてほしい。また、図書消毒機の購入についても、地元企業でも取り扱っているので、地域活性化のためにも配慮してほしい。

⇒議員 地元企業がいろいろな形で参入できるように担当部局に伝えたい。

《都市・環境常任委員会所管部分》

○四日市ドーム更新工事の入札について、何者ぐらいから応募があったのか

⇒議員 7者から入札があり、すべて同じ金額であったためくじ引きで決定した。これについては委員会でも質疑があり、担当部局からは予定価格を事前公表していることから入札価格がすべてが同じ金額になる事例が多く、今回も同様の結果となったものと思われるとの答弁があった。

○せっかく大きなアリーナがあるので、音響設備の改修をやればコンサートもできと思う。ドームの音響設備の改修は「今後の大規模改修で」ということだったが、それはいつ頃か。

⇒議員 今後の大規模改修がいつかという点については、この場でお答えすることができないが、委員会の中でも、市民からお声のある音響設備の更新について早急に検討してもらいたいということで、担当部局からは今後の四日市ドームの大規模改修がある際には音響設備の更新を検討していきたいとの答弁があった。

○次回の大規模改修の際には、コンサートで使い勝手がよくなるように出し入れのできる舞台を作ってはどうか。また、夕方に西日が入って照明が見づらいということがあるので、遮光カーテンをつけていただくこともぜひ検討してほしい。

⇒議員 遮光カーテンは既にあるかもしれないが、ない場合は意見があったことを担当部局に伝えたい。

【シティ・ミーティング】

《テーマ：四日市市政全般について》

（四日市市総合計画）

○市長の任期は4年である。仮に現市長が10年の計画期間中に代わったとしても、総合計画は変わらないという認識でいいのか。

⇒議員 総合計画は、市長個人が策定したものではなく、市議会の特別委員会で2カ年をかけて調査・審査した上で策定された市の基本となる計画である。状況に応じた修正は行われるが、大きな基本コンセプトは変わらない。

⇒議員 計画期間の10年先には、大きく時代背景が変わることもあるので、今回の総合計画については、5年後に社会情勢に応じて見直しを行うこととしている。市民が求めている行政運営が行えるよう、議会としても市民からの負託に応えていく。

○総合計画はランドデザインの的なものであることは理解するが、図書館建設や近鉄四日市駅のバスタプロジェクトなど具体的な事業をロードマップに示していかないと市民には可視化できない。ランドデザインをつくるのであれば、ロードマップもセットで示し、策定してほしい。

⇒議員 ご意見として承る。

○総合計画にある4つの基本構想についての内容はいいが、四日市がどのようなまちになるのか、一般市民には分かりにくい。総花的な内容ではなく、何を重点的に取り組んで、どのようなまちをつくるのか、本当に骨になる部分を示してほしい。また、10年後の四日市の姿が見えないため、時系列的なスケジュールを含めて、大まかな四日市の今後

の姿を示してほしい。

⇒議員 市の総合計画であり、どうしても大きな方向性を示す内容となるが、10年間の総合計画の中には、3カ年ごとの推進計画についても定めている。その推進計画に示される具体的な施策や個別の事業について、市民からさまざまな意見をいただきながら議会内でしっかり議論していく。総合計画の策定段階における特別委員会での議論の中では、まちづくりの最上位の理念である四日市未来ビジョン「ゼロからイチを生み出すちから イチから未来を四日市」の文言についても議員からさまざまな意見があった。

(新型コロナウイルス感染症関係)

○今年度、秋に5年に一度の国勢調査が行われると思うが、新型コロナウイルス感染症の状況も踏まえ、本市の実施の見込みはどうか。

⇒議員 例年は自治会から推薦された方が各家庭を回って、質問に対する回答を持ち帰っていたが、今回の国勢調査は、現在コロナ禍で人との接触に問題があるので、書類を各戸に入れてくるだけで、その書類を送り返してもらう方法で行うと聞いている。

○四日市市の世帯数は約14万世帯であるのに、特別定額給付金の支給件数が約12万件と聞く。この2万件の差はどういうことか。

⇒議員 最新の数字で、特別定額給付金の受給対象件数(世帯数)が141,143件、支給総額が約304億円で約97%の進捗状況と聞いている。対象件数と支給件数の差は、まだ給付金を申請していない分と考える。

○総合会館横の屋外喫煙室について、3密を避けるため入室を2名までにしたと聞くが、いまだに3名以上同時に入室したり、屋外で喫煙している場面を見る。新型コロナウイルス感染症はまだまだ心配であり、3密対策を守ってほしい。

⇒議員 ご意見として承る。

○総合計画に「環境・防災先進都市」を掲げている。四日市市には、防災対策条例という素晴らしい条例があり、市民にとって武器を手にした。ぜひこの条例の精神に反するようなことがないよう、議会から各事業のチェックをぜひお願いしたい。

新型コロナウイルスの感染が続く中、水害等により避難所生活を送るための予算について審査を行ったと思うが、最近多いのは備品等を協定に基づいて市に提供してもらう内容である。しかし、大規模災害になればなるほど実際に提供されない事例があるとの報道を聞く。空振りでもいいので、市が準備して、すぐに届けられるように備えること

も大事な視点である。協定締結と市独自での備えの両面から検討し、必要な場所に届けることができるよう、議会としてのチェック機能を果たしてほしい。

⇒議員 6月定例会中での予算常任委員会総務分科会において、段ボールベット、パーテーション等について十分に審査を行った。段ボールベットの提供に関する協定は、現在、市内1社、愛知県1社と結んでいるが、災害時の運搬に課題はある。担当部局からは、たくさん購入した場合に適当な置き場がなく、現在は、四日市東インター付近にある県の広域防災拠点に100セットの段ボールベットを備蓄していると聞いている。まだ、段ボールベットを実際に使用したことがないので、いち早く対応できるよう市民からの意見をいただきながら検討していきたい。

(その他項目)

○伊坂ダムは、どこが所有するものなのか分からないという声をたくさん聞く。地域住民として、国体に向けてテニスコートを綺麗にしたいので市に許可をもらいたいと伝えると、市からは、市の所有でなく許可できないとの回答であった。市に伊坂ダムに関する資料の確認を求めても、何十年も前の資料のため残っていないとの回答であり、先日の一般質問でも十分な答弁ができなかったと思う。

⇒議員 意見として承る。

○中核市について詳しく教えてほしい。

⇒議員 中核市の要件について、以前は人口30万人以上であったが、現在は20万人以上となっている。現在、本市は中核市への移行を目指しているが、大矢知の産廃問題が解決しておらず、県と市が協議しており、その課題が解決し次第、中核市移行を進めることとなる。中核市になることによって業務量は多くなるが、市に認められる事務の権限が増える。

○学童保育について、まだまだ保護者にとっては費用面を含めかなりの負担となっている現状であるので、公設民営に向けてぜひよろしくお願ひしたい。

⇒議員 学童保育の運営方式については議会内でもさまざまな意見がある。ご意見として承る。